

平成29年度

## 憲法週間記念行事「裁判所で働く人々」実施報告

5月30日（火）に水戸地方・家庭裁判所において「憲法週間記念行事～裁判所で働く人々～」を開催しました。当日は、一般の方から学生の方まで、29名にお集まりいただき、裁判所職員の仕事や裁判所の利用方法などを紹介しました。



### 家裁の裁判官の仕事紹介



家庭裁判所の裁判官から、①憲法と家庭裁判所制度、②家庭裁判所の裁判官と仕事、③社会の変化と家庭裁判所について説明が行われました。専門的な言葉もある中、参加者の皆さんは真剣に話を聞いていました。

### 家裁調査官の仕事紹介

家事・少年事件の各担当家裁調査官から、①家裁調査官の仕事（全般）、②少年事件の仕事、③家事事件の仕事について説明が行われました。参加者の皆さんは専門的な仕事を行う家裁調査官の説明に熱心に耳を傾けていました。



### 裁判所書記官の仕事紹介

家事事件担当の裁判所書記官から、書記官の仕事にまつわる自身の家族の思い出を交えながら、①書記官の役割・仕事の内容・任官方法、②家庭裁判所の事件の特徴について説明が行われました。フリートークの場面では、終始和やかな雰囲気でも、書記官を身近に感じていただけたのか、参加者の皆さんは楽しく話に聞き入っているようでした。

## 家裁施設見学



写真は、書記官が調停室内で説明している様子です。調停室以外にも、科学調査室や児童室の見学が行われました。

内容は見学にとどまらず質疑応答もあり、参加者の皆さんからは活発な発言をいただき、家庭裁判所の仕事に対する関心の高さを改めて実感しました。

## 地裁の裁判官の仕事紹介

最後に、地方裁判所の民事事件を担当する裁判官から、民事裁判の具体例や手続の流れなどの説明が行われました。

また、事件を適正・迅速に進めるため、裁判官と書記官とが連携して日々働いていることを紹介しました。



### <参加者した方々の声>

- 家裁の裁判官は、法服をあまり着ないことが意外でしたが、説明を聞き、なるほどと思いました。
- 家裁調査官は、心理関係の知識や技術が求められる仕事だと感じました。
- 施設見学では、児童室のおもちゃからテーブルの形まで、公平で効率的に調停が成立するよう工夫がされていて感心しました。
- 家裁の書記官は、窓口の対応をすること、裁判官の補佐的な仕事をするのがよくわかりました。
- 地裁の裁判官は、刑事事件のイメージが強かったですが、さまざまな手続があることを知りました。
- 裁判官と他の職種との連携が大事であることがわかりました。
- 書記官は、裁判官が判決を出すまでなくてはならない存在であることを知りました。
- 裁判所には、色々な役割の方々が働いていることを知ることができました。学校に出向いて講義していただくと、生徒たちの将来の仕事の選択肢が増えると思います。

(ご参加いただきありがとうございました。)